

北東アジア石油フォーラム2007への参加について



石油連盟

日中韓3ヶ国の石油産業のリーダーが一同に会し、北東アジアの石油・ガス産業の展望を語り合う「北東アジア石油フォーラム2007」に、渡石油連盟会長が参加し、プレゼンテーションを行う。

日時: 2007年9月20日(木)

場所: 北京

主催者(事務局):

日本エネルギー経済研究所、中国石油学会経済專業委員会、
韓国エネルギー経済研究院

議題: 『北東アジア石油産業の展望』

発表者(発表順):

韓国: GS Caltex会長 許東秀(Dr. Dong-Soo HUR)

日本: 石油連盟会長・新日本石油会長 渡文明

中国: 中国海洋石油総公司(CNOOC)副会長 吳猛飛(Wu Mengfei)

プレゼンテーション概要

『北東アジアにおけるエネルギー問題』

〔要旨〕

北東アジアの課題である「エネルギー安全保障と環境問題」への取り組みにあたっては、各国の個別対応には限界があるため、日中韓が中心となり、地域協力体制を戦略的に強化していくべきである。具体的施策としては、備蓄体制の強化や精製余力の有効活用、省エネ・環境保全の技術協力等が挙げられる。

〔内容〕

1. 北東アジア(日中韓)の需給展望と課題

「エネルギー安全保障と環境問題」に対する、これまでの日本石油業界の成果と取り組みを例示

2. 域内エネルギーの重要性

エネルギー需要増と環境問題への各国個別対応の限界と、アジア経済の一体化の観点から、アジア域内のエネルギー協力の重要性を主張

3. アジア地域の協力体制の構築

日中韓の協力による地域協力体制の戦略的強化と具体的施策の例示